

# 武雄市長 樋渡啓祐

武雄市教育委員会

# 教育監 代田昭久

しるた

## 落ちこぼれのいない公教育

樋渡 代田さんが教育監に就任されて3ヶ月たちましたね。あらためて抱負をお願いします。

代田 就任のときは日本一の学力を目指そうと思っていました。今は違います。武雄で世界一の公教育のあり方を追いかけてみたいと思っています。

樋渡 日本一ではなく、世界一ですか？

代田 はい。世界一です。

樋渡 ここまでくると、もう変態ですね(笑) キーワードの一つが「反転授業」だと思のですが、そもそもこんなに反響あると思っていましたか？

代田 思ってたかったですね。びっくりしました。

樋渡 なぜ、あんなに反響が大きかったのでしょうか？

代田 まずは、やはり武雄市だからかと。違う都市だったら、ここまではない。この反響は樋渡市政の延長にあるものだと思います。

樋渡

代田さんは武雄にお越しになる前は和山中の校長を5年されていました。和山中学校の代田さんといえば450人の全校生徒の名前と顔を覚えていたことで有名でした。どうやって覚えたのですか？

代田

和山中では授業も担当させてもらっていました。そうすると、やはり授業では生徒の名前を呼んで当てたいじゃないですか。「鈴木、だめだよ」「いいじゃん、加藤」っていうのをやりたかった。なので、毎日時間を決めて、コメントとアルバムを見ながら覚えてましたね。生徒とのふれあいが一番面白い。

## 新しいものへの進取性

樋渡

なるほど、すごいですね。その後、武雄市にお越しいただきました。武雄に住んだ印象はいかがですか？

代田

やはり勢いがあるなと思いますね。多くの市民の方が行政に関心を持たれていますし新しいものに取り組んでみたいという意識が武雄にはある。講演会のときも、先生方がとても真剣にメモ

## 今年は何教育元年

樋渡

まずは佐賀弁の特訓とことではあります。最後に今年の抱負を教えてくださいいただけますか？

代田

やはり、今年は何日本の教育が変わる年になります。タブレット端末が家庭に配られることで、家庭の役割や先生の役割が大きく変わります。子どもたちが主体的になつて学ぶ、公教育ではおちこぼれを作らない、と意識が変わるような教育改革をしていきたいと考えています。

樋渡

学校の先生にいい意味で楽をしてほしいですね。余裕を持った気持ちで、もっと子どもたちに目を向けられるようにしていきたいと思っています。「学び合い、教え合い、そして高め合いの教育」で、どうぞよろしくお願ひします。

代田

こちらこそ、ご期待に沿えるようにがんばりますので、よろしくお願ひいたします。

# 新春対談

## Part 2

